

武蔵野市気候市民会議のこれまでの取り組みと今後の予定について

市民が地球温暖化対策について主体的に議論する場として、無作為抽出と公募による68名で構成された気候市民会議（*1）を発足し、7月から11月まで会場とオンラインのハイブリットで全5回行いました。

会議ではゲストティーチャーを迎え、気候危機問題に係る情報提供を行い、グループ討議を行いました。最終回の第5回目は、これまでの会議の議論をふまえ、「2050年の武蔵野市（脱炭素社会）に向けて、広めていきたい取組」をテーマに話し合いました。会議で話し合われた内容は報告書としてまとめます。

また、報告書ができた段階で会議参加者による懇談会（*2）を行う予定です。

市では会議の議論を踏まえ、市民一人ひとりの環境配慮行動を示す「気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）」を作成し、行動を促す支援の取り組みなどを進めることで、市民の行動を後押しし、市民と市が協働して地球温暖化対策に取り組んでいく機運を醸成していきます。

会議開催を契機に、市民一人ひとりが地球温暖化を自らの問題として強く認識し、地球温暖化対策の輪が武蔵野市から広がり、かけがえのない環境が次世代に引き継がれていくよう取り組んでいきます。

<<会議概要>>

参加者：68名（内訳：無作為41名、公募27名） アドバイザー：江守正多氏

	開催日	テーマ	ゲストティーチャー
第1回	7/26(火)	地球温暖化の現状とこれからの社会	江守正多氏
第2回	8/23(火)	モノを買う・使う・手放す	柿野成美氏
第3回	9/27(火)	動く・働く（学ぶ）・遊ぶ	松橋啓介氏
第4回	10/25(火)	住まいのエネルギー	前 真之氏
第5回	11/22(火)	2050年の武蔵野市（脱炭素社会） に向けて、広めていきたい取組	—

<<補足>>

*1 気候市民会議：フランスやイギリス等で2019年頃から開催されている会議で、一般の市民が気候変動対策について話し合う会議。国内では、札幌、川崎、所沢市などで開催。

*2 懇談会：令和5年1月22日開催予定。会議参加者（任意参加）により会議の振り返り等を行う。

<<参考：市ホームページ 武蔵野市気候市民会議>>

https://www.city.musashino.lg.jp/gomi_kankyo/shoene_eco/oshirase/kikoshiminkaigi/index.html

